

## 八女市大規模茶園集積



### 概要

八女市の茶は、栽培面積が1,296ha(2016年度)で県内の84%を占め、全国的にも高級茶の産地として名を馳せている。

ゆるやかな傾斜の丘陵地に広がる中央大茶園(約70ha)は、福岡を代表する八女茶の一大生産地です。ここは、1969年から1973年にかけて「県営パイロット事業」として103haの山林を開発して作られた茶畑で、その雄大な景色は広く知られるところとなりました。頂上には展望所が設けられ、晴れた日には有明海や島原半島を望むことができます。新茶の季節には、新茶の無料接待や販売が行われます。

### 中間管理事業の活用で茶園の集積

○中央大茶園を中心とし、75haを集積

○地域集積協力金を活用して、灌水施設のリニューアルを予定

